

平成 24 年度

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4071602272		
法人名	(有)徳栄会		
事業所名	グループホームこころ		
所在地	福岡県久留米市城島町下青木1010-2番地		
自己評価作成日	平成25年2月10日	評価結果確定日	平成25年3月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kohyo.fkk.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人ヘルスアンドライツサポートウリズン
所在地	福岡県直方市知古1丁目6番48号
訪問調査日	平成25年2月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の介護度が上がり重度化していくなか、利用者が安心安全に過せる環境づくりに努め、利用者ひとりひとりの気持ちに寄り添い利用者本位の介護が行えるよう努めています。
利用者との信頼関係を築き、笑顔の絶えない明るい空間を目指しています。

外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫店(評価機関記入)

開設8年目のグループホームこころは、理念である共に生き、心に寄り添う支援に施設長や全職員が一体になって取り組んでいる。地域包括支援センターや市の紹介で入居した、サービス提供が困難な方、意志の疎通が図れない等の介護度が重い方が、意向を尊重した根気よく待つ支援や、穏やかなゆったりとした支援で、笑顔や落ち着きが見られるまでになっている。外出が困難な入居者も増えているが、職員が企画した本場久留米ラーメンの出張料理の懐かしい味に笑顔になったり、衣料品店の出張販売等で買い物等を楽しんでいる。また、改善委員会で入浴介助の用具購入や2人体制を実現し、重度化に取り組んでいる。このような職員の気づきやアイデアが反映され、特別休暇での資格取得や研修参加の支援、休憩室の設置等で、離職する職員も少なく、さらなる地域密着型サービスの取組みが期待できるホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
58	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	65	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
59	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	66	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
60	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
61	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
64	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:30)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

ユニット／事業所名 **ころB棟**

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	施設の理念に基づいた介護を職員全員の理念の理解のもと行っている。また理念を目立つ場所に掲示することで常に意識して業務にあたり、具体的なケアにつなげている。	玄関に掲げられた三つの理念は、職員に介護の基本として根付いている。入居者の手を握り、身体に触れ、目を見て、声をかけ、心を通わせ、優しい家族として笑顔になっていただく支援に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入会している。夏祭りなど地域の行事への参加も実施している。施設の行事に地域の方に来ていただき交流を深めている。	小学生の社会見学や高校の実習生の受け入れ、小学校より搗き立ての餅が届けられている。恒例の夏祭りはボランティアや地元の太鼓、高校生のプラスバンドの演奏等で交流が深まっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議には、地域役員の方々にお越しいただき意見交換をおこなっている。また福祉に関する疑問、質問、相談等も受け付けている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、施設の現状報告をし、家族代表、地域の役員、市の職員などから意見アドバイスを頂き、サービス向上への参考としている。	2ヶ月毎に、適切なメンバーで開催している。写真満載のホーム便りが配布され、ホームでの取組み、外部評価や職員研修等の報告や、昨年夏の大雨後は水害時の課題等を話し合い、会議録が整備されている。	個人情報の取り扱いを明記した運営推進会議実施要領の整備や会議録の公表をお願いします。また、発行している式番館だよりを活用し、家族に会議開催日時や会議内容の周知もお願いします
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	常に市担当者と連携をとり、アドバイスを頂いたり、問題発生時の素早い対応ができるよう連携をはかりサービスの向上に努めている。生活保護受給者に関しては保護課のケースワーカーとも連携をはかっている。	地域包括支援センターや市の紹介で、サービス提供が難しい方や受け入れ先がない方、重度化した方を受け入れている。利用料金の滞納について、保護課や介護保険担当者と連携して対応を検討している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会議や社内勉強会で職員全員の理解と意識付けのもと職員一人ひとりが日頃より意識し介護にあたる事で、身体拘束のないサービスを行っている。	身体拘束の具体的な行為や「ちょっと待って」について、内部で研修している。夜間にベットの柵やセンサーマットを使用する場合は、家族に状況を説明し、同意を得ている。夜間以外は施錠せず、外出傾向のある方には職員を1人配置し、行動パターンを職員間で共有し、見守りや付き添いで支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議や社内勉強会において高齢者虐待防止法の理解浸透と常日頃からの意識づけを徹底し、法令を遵守したサービスを提供している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(6)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内勉強会の議題に取り上げ、職員全員が理解し具体的に必要とされる場合は話し合い、活用する事ができるように取り組んでいる。	日常生活自立支援事業で金銭を管理したケースがあったが、現在は、ホームで金銭管理を支援している。また、現在、遺産相続等の関係で成年後見制度の活用が考えられる入居者について、ホームとしてどのような支援をしたらいかが検討中である。	日常生活支援事業や成年後見制度のパンフレットを整備し、入居時の説明をお願いします。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間を設けて丁寧な説明を行っている。利用料金やリスク、重度化や看取りについての対応方針、医療連携態勢の実際などについては、特に留意し詳細な説明を実施し同意を得るようにしている		
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設に苦情相談受付箱を設けている。また契約書に苦情受付窓口を明記している。毎月、介護相談員が来所され職員には直接言えない事も相談できる体制をとっている	ホーム便りで入居者の暮らしぶりを報告し、誕生会や夏祭りに家族を招待している。家族の訪問時には意向を伺うように努めている。施設長が来所する介護相談員の報告を受け、施設長の媒介が職員の励みになっている。	運営推進会議に必ず出席される家族代表や夏祭り等には家族の交流もあるので、家族の意見をサービスに反映させるため、家族会の発足に向けての取組みを期待します。
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、全体会議・定例会議・幹部会議を開催し職員の意見が反映しやすい雰囲気をつくっている。また各部署から代表2名をだして改善委員会も行っている	職員会議で職員の気づきやアイデアが反映され、担当者が選んだ誕生会のプレゼントは「ぴったりだ」と喜ばれたり、出張料理の企画が入居者だけでなく、料理人からも感激され「今日はボランティアでお代はいいです」との言葉をいただいている。また、改善委員会での検討もあり、入浴介助の用具購入や2人体制の実現、単独の休憩室での休憩ができるようになっていく。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	全職員の研修の機会を与えられるよう配慮している。資格取得者に対しては給与や賞与等に反映するよう努めている		
13	(9)	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	個々の職員が、それぞれに持つ能力を發揮できるよう考慮し採用、配置を行っている	ハローワークからの紹介が多く、年齢や資格を問わず、やる気のある介護に向いている職員を採用している。資格取得や研修参加の希望があれば、シフトに配慮し、特別休暇で毎年数名が資格を取得している。休憩室が設置され、離職する職員も少なく、働きやすい職場になっている。	
14	(10)	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	会議や勉強会で人権教育を指導し、利用者の人権を尊重するよう努めている	管理者が外部研修で学び、事業所で伝達講習をしている。高齢者虐待防止マニュアルが整備されている。入居者を人生の先輩として敬意、定例会や研修会で人権について話し合いを行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内勉強会を毎月実施。外部研修の受講を実施し職員の質の向上を図っている。		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	定期的に事業所交流会に参加している。研修会への参加、情報交換を行いサービスの向上に努めている		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員が直接ご本人と会って現在の状態や不安を理解し本人との信頼関係作りに努めている		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用前に本人、家族と面談を行い要望や不安なことを聞き取りサービスに生かしている。また家族の介護負担が軽減できるようにしている		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談時に本人、家族の意向を確認し必要なサービスを見極め提供助言を行っている		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	施設の理念のもと、日々の生活において一緒に家事や食事を摂るなかで調理方や味付け、掃除の仕方などの知識を教えていただいたりと、色々なことを学びながら日々利用者に寄り添う介護を行っている		
21		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事の際は参加して頂き、皆で楽しく過ごして頂く時間を共有することはもちろん、定期的に本人様の日々の生活の様子を連絡することで共に本人を支えていく関係を築くよう努力している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望を尊重し、なじみの地域での行事への参加や家族の協力の下、お盆やお正月に外出、外泊をして頂いている	地域の「よど祭り」や法事などに家族同伴で出かけたり、近隣の知人や友人の訪問がある。入居者の重度化や家族の高齢化で帰宅や面会の機会が少なくなっている昨今、誕生会や夏祭り・敬老会・クリスマス会などホームの行事に家族を招待し、関係継続の支援をしている。	
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体操やレクリエーション行事等への参加を呼びかけ、利用者同士が関わり合い楽しい時間を共有できるよう配慮している		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続的なかわりを必要とする利用者や家族に対しては、必要により電話相談や情報提供等を実施し支援している		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	計画立案時に家族、利用者本人と面談を行い情報を収集し、希望等を確認し本人本位の生活が送れるよう努めている	アセスメントした家族構成、生活歴・職歴を整備している。サービス提供が困難な方、意志の疎通が図れない等の新規入居者が、ホームでの暮らしに段々と落ち着かれ、時折見られる笑顔や言葉から本人の思いを捉えている。	
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族、居宅ケアマネなどからこれまでの生活について聞き取りし、アセスメントを作成しスタッフ全員が熟知できる態勢をとって把握に努めている		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	以前利用されていた施設や病院等からの情報や、入所時のアセスメントにより生活歴を把握し、情報を共有している		
28	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族、主治医からの情報ををもとにサービス担当者会議を行い介護計画を作成している。担当者会議にはスタッフ全員が参加している	定例会や担当者会議での気づきやモニタリングで、課題や短期目標を評価し介護計画を見直している。作成した介護計画は入居者・家族の了承を得ている。また、介護計画と週間計画表を各居室に掲示し、家族や全職員で取組んでいる。	それぞれの入居者の残存能力を活かした具体的な短期目標を設定で、モニタリングがしやすくなることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は細かく記録されている。介護計画は定期的に話し合い、見直しをしている。情報はスタッフ全員が共有できるようにしている		
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様、個々のニーズに合わせ援助している。ご家族の要望等も傾聴し対応している		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方にお越し頂き、消防署との共同による避難訓練を実施。また定期的な訪問相談員の受け入れによって情報の共有、透明性に努めている		
32	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望する医療機関と常に連携を図り、受診等対応している。体調変化時も早急に対応できている	かかりつけ医の受診や協力医療機関の往診を支援している。また、皮膚科、眼科、歯科、精神科等の専門医受診を支援し、受診時に付き添った看護師が受診記録を整備し、随時家族に連絡や記録をしている。	
33		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が常勤しており、受診、服薬状況、健康管理を行っている。健康状態を把握し、介護職員に適切な受診や看護を受けられるよう指示を行っている		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は定期的に面会に行き、病棟看護師やソーシャルワーカーより情報を取り入れている。退院後も状態報告を受け、援助指導を受けている		
35	(15)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期における施設の対応で可能な範囲を本人、家族に説明し同意書を頂いている。常勤の看護師を配置し重度化に対応した支援を行っている	重要事項説明書に重度化や看取りに関する指針を詳細に明記し、入居時に説明し同意を得ている。入居者の重度化の対応で常勤の看護師が配置され、協力医療機関と連携しているが、この1年看取りはない。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の協力を得て、年2回定期的に消防訓練や応急処置の知識や技術、心肺蘇生の方法等を習得する勉強会を開催している		
37	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	半年に一度全職員、利用者、近隣住民の方を交えて消防署員の指導による消防避難訓練を実施している。また自動通報装置やスプリンクラーも設置しており、緊急連絡網、緊急時の電話対応時のマニュアルも掲示している	避難誘導後は、各居室入口の写真入り表札を床に下ろすことを取り決め、年2回避難訓練を実施している。非常口もバリアフリーで避難しやすい。また、消火器の整備や、ペットボトルや食料、ビスケット等を備蓄し、救急蘇生法やAEDについて学んでいる。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員の言葉かけや接遇、また利用者の人権、尊厳について全体会議や定例会議等で勉強し見直しするようにしている	誇りや人格に配慮して、トイレ誘導時もさりげなく対応している。朝の着替えも根気よく意向を尊重した待つ支援で、段々落ち着かれ、共用空間で過ごす時間が増えた入居者もいる。	
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事やおやつ、飲み物等、利用者様が希望されるものを日々のコミュニケーションのなかで聞き取りし献立に取り入れ作成している。またご覧になりたい映画等の希望があればDVDを借りてきて映画鑑賞会をおこなっている		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様、個々のニーズに合わせ援助している。本人様の希望等をききとりながらお一人おひとりのペースにあわせそのかたらしさを尊重した支援をおこなっている		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者は起床時にその日着る服をできるだけ自分で選んでいただき、整容、身だしなみの支援を行っている。また1～2ヶ月に1回美容院に訪問してもらっている。		
42	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望や能力に応じて、じゃがいもの皮ムキ、もやしの根切り、ごぼうのささがき等お手伝いいただいたものを調理し、職員と同じテーブルをかこんで同じメニューをおいしく、和やかに楽しい食事の時間を共有している。また食事評価を作成し献立作成に役立っている	訪問調査日のリピートメニューのちらし寿司は、ほとんどの入居者が完食されている。職員も入居者と一緒と同じ食事とりながら、「美味しいね」と、食事介助や声かけをしている。外食が困難な入居者も増え、職員が本場久留米ラーメンの出張料理を企画し、懐かしい味に笑顔が弾けた。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活支援記録に利用者一人ひとりの食事摂取量、水分摂取量を記入し利用者の状態確認を行っている。本人の状態に応じて補助食品の提供も行っている。		
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、自力又は介助にて口腔ケアを実施し、清潔の保持に努めている。歯科医と連携を図り利用者全員の状態を把握して頂き、異常時は訪問診療に来ていただいている。歯科医より口腔ケアの研修会をうけ、日々の口腔ケアで実践している。		
45	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	毎日排泄状況をチェック表に記入しており、状態把握に努めている。出来るだけトイレで排泄できるよう声かけ、支援を行っている	排泄パターンやサインを把握し、日中は誘導や声かけで、半数の入居者が布パンツでトイレで排泄している。本人の体調でリハビリパンツの使用を決めたり、夜間のみ紙オムツの使用やポータブルトイレでの排泄を支援している	
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者全員の水分摂取量を把握し水分不足にならなうように支援している。健康体操やリハビリ体操に毎日参加していただき適度な運動を職員と共に楽しみながら行っている		
47	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりが入浴を楽しみにされており、利用者が喜んで入浴して頂けるよう、曜日や時間を決めず毎日湯を入れ入浴できる環境になっており清潔が保てるよう支援している	本人の希望に添った入浴を支援し、毎日入浴を楽しんでいる入居者が多い。入浴拒否には、声かけのタイミングや、相性のよい職員と交代する等工夫し、週3回の入浴支援を行っている。重度化した入居者は現在2人体制で支援しているが、風呂の構造上の介助のしにくさが課題となり、今後は機械浴の導入も検討中である。	
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人ひとりの生活リズムに合わせて日中に休憩時間をとって頂いている。就寝時間は決まっていない。個々に声かけをし、本人の意思を確認し、安眠や休息支援を行っている		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師の指示の下、薬の管理と服薬支援を行っており、状態の変化は常時看護師に報告している。記録を残し職員全員が情報を共有できるようにして日々の状態観察と併せて支援している		
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者一人ひとりの能力に応じた役割を担っていただき日々の生活の中で家事手伝いが出来る方は楽しみややりがいを見いだせるよう寄り添う介護をおこなっている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51	(21)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的な外出を希望される利用者が少ないが、できるだけ戸外に出かけられるよう体調等考慮しながら外出するようにしている。外出する事で気分転換になり楽しみをみだして頂けるよう支援を行っている	年間行事を計画し、季節の花見や柳川のさげもん見物では足湯を楽しんでいる。盆・正月の里帰りや、家族と一緒に酒蔵めぐりや法事に出かけている。日頃は、1人ひとりの意向に添って、近隣の散歩や買い物に出かけている。外出が困難になった入居者には、衣料品店の出張販売等で買い物等楽しんでいる。	
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設が金銭管理を行っている。外出先で買い物をする時は、職員付添いで職員が支払いしている		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望により電話をかけたり、かかってきた電話を取り次いで話して頂いたりしている。		
54	(22)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースに季節を感じられるよう飾りつけをしている。行事や外出時の写真を掲載したりしている	各ユニットの玄関にはシクラメンや胡蝶蘭が飾られ、靴の脱却用の椅子が配置されている。高い天井の天窓や広い窓からの彩光で明るい共用空間には、雛飾りやさげもんが飾られ、季節感に溢れている。オープンキッチンから調理の匂いが漂い、入居者は気の合う同士で、お気に入りのテーブルやソファで寛いでいる。	
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用スペースには、ソファーやリクライニングチェアを設置している。利用者がゆっくり談話できるようにしている。		
56	(23)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の使い慣れた物は、ご家族に持ってきて頂き使われている。居室には写真やはがき、職員手作りのカード等が飾られている	各居室には目印になる写真入りの表札が掛けられている。居室の窓からは田園風景が見渡せ、解放的である。入居者の身体状況に合わせた電動のベットや、使い慣れたベットや椅子、家具調のポータブルトイレ、筆筒や仏壇、テレビ等が、暮らしやすく配置されている。	
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご自分でできることはなるべく本人様にさせていただいている。必要以外に物を置かず整理整頓し事故防止に努めている。居室入口には写真付き表札をあげて誤って他者の居室に入室されないよう工夫している		